

西島寛道議員



広報誌の配布方法は

Q 自治体における広報誌の役割は、住民の皆様と行政や町内団体とのかけ橋になっている。

本町では、基本10日と20日に広報誌等が配布されており、配布方法は、企画財政課から各区の配布係を経由して隣組長に届けられ、住民に届けられる。

昨今、少子高齢化社会が進み、核家族や単身者が増加し、自治会への加入率が低下している。8月の世帯数は、3446件、配布件数は、2849件となっており確実に各家庭に届けるのが難しい状況である。

また、各区の抱える仕事は多く、広報等の仕分けや配布を担っている方々は苦労されている。

このままでは各区の役員や配布係の担い手は敬遠され引き受けが難しくなる。

そこで問う。

①仕分け作業の軽減を図るため、広報誌・回覧等は、一冊にまとめることができるのか。
②毎月2回の配布となっているがホームページやインターネットを有効活用すれば1回に減らせると思うが、町の

考えは。
③音声や動画でお知らせ出来る電子回覧板等を利用する方法もあるが

企画財政課長 花本 寛

区長会と相談する

A 広報の配布については、毎月10日に発行する「広報いで」はその月の11日から翌月の10日までの予定を、20日に発行する役場だよりは次の月の1ヶ月分の予定を掲載しており、発行日の掲載範囲をずらすことで、それぞれの発行日以降に確定したお知らせ事項等をおりこみながら、新しい情報を住民にお知らせするもの。

①広報誌や回覧等を1冊にまとめることについては役場からのお知らせ等は「広報いで」へできる限り集約するなど、検討したいと考えている。
②配布の回数については府や警察・社会福祉協

スマホやタブレットを使って情報を伝えられるよう検討しては。

議会・小中学校など外部から委託される配布物もあるため、月1回とした場合、逆に、一度に配る量が多くなり配布する方の負担が増すと考えている。

③「広報いで」については、ホームページに掲載していることからスマホやタブレットを通じて見ることが可能。他の配布物についてはホームページに掲載することができないので広報資料配布の代替えとしては難しいと考えている。

広報資料等の配布の在り方については、今後区長会と相談しながら方法を検討していく。

野良猫の対策は

Q 近年、ペットを家族の一員として愛情を注ぎながら暮らされている方も多く、3世帯に1世帯は飼っているといわれている。

中でも犬・猫が上位を占め、一方で犬猫の殺処分の問題はいまだに続いている。

しており、地域における野良猫問題は住民トラブルに発展している。

そこで次のことを問う。
①野良猫対策の取り組みは。

②猫の不妊、去勢手術費用の補助についての考えは。

産業環境課長 菱本 寛

餌付け禁止の注意啓発

A

①猫に関する苦情が寄せられた場合、飼い主が特定できる猫については、山城北保健所と連

携して餌い主を訪問し飼育方法やしつけを指導している。餌い主が特定できない猫についてはチラシの配布や看板設置で餌付け禁止の注意啓発等を取り組みを行う。



野良猫には餌を与えないで

②他の自治体の事例や効果などを調査し検討する。



奥田 俊夫 議員

ドローンの活用は

◎ 平成30年度中に全国で認知症が、その疑いが原因で行方不明になり、警察に届け出があったのは前年比1064人増の16927人だったことが警察庁のまとめで分かった。

① 町内における防犯カメラの設置状況は。
② 今後、増設予定や各区単位で設置する場合の助成制度は。
③ 災害や捜索時におけるドローンを利用した活動は検討されているのか。

団塊世代が75歳になる2025年には認知症の高齢者が約700万人に

総務
協本課長

効果を確認して検討

① 防犯カメラの設置については、平成28年12月に井手町と田辺警察署との安全・安心まちづ

くり協定に基づき、特に園児や児童、生徒の通園・通学の安全・安心のため、田辺警察署と協議しながら設置し

てきた。設置場所は井手・多賀小学校の出入り口、町内の3保育園の入り口、玉水駅自由通路及び玉水駅駐輪場山城多賀駅自由通路に設置している。

② 本年度は泉ヶ丘中学校に設置予定。今後も増設については関係機関と協議し設置する。各区などの団体が設置した場合、助成金については、今後の検討課題とする。

同報系防災無線配備は

◎ 災害はいつ発生するかわからない。今はかつて経験したことのない災害が発生しているため、防災情報の伝達方法も今まで以上に重要になってくると考える。

本町においても以前より車両による広報活動を実施しているが、激しい雨や風の時は、避難情報が確実に伝わっているか不明点もある。ホームページや、携帯

電話のエリアメール等を利用した情報発信もしているが、高齢者の方はどうしても使用していない方もいる。実際の防災メールの避難情報は、必要な情報が盛り込まれている反面、文字数が多く、表現も難しい部分もある。現在、移動系の防災無線は配備されているが、今後同報系防災行政無線を配備するのか。現在検討中の施策を問う。

総務
協本課長

先進的な自治体に確認

◎ 同報系防災行政無線の整備については、以前に検討していたが、当時携帯電話やスマートフォンが広く普及している状況の中、市町村において緊急メールが配信できることから、個別に情報を受信できる有効なツールとして今に至っている。

また、有効な情報伝達手段を検討していくうえで、国や専門業者に聞く

れている自治体において野外のスピーカーでは気密性の高い住宅や雨音なども影響して声が聞き取れない。個別受信器では電波の

関係で受信しにくいなどの意見もあると聞いている。

と、無線を設

置する際に防

災拠点の位置

も勘案しなけ

ればならない

こともあり複

数の情報伝達

手段を実施し

ている先進的

な自治体に確

認しながら、

新庁舎建設に

合わせて具体

的に検討してい

きたいと考



移動系の防災無線基地局



脇本 尚憲 議員

進出中止で大変残念

Q 山城多賀駅前に誘致予定であった大型商業施設進出計画中止の通達が正式にあり、住民も大変残念に思っているとの声を聞く。

誘致が中止となった今後の買物インフラについて、再度考えていかなければならない状況である。

今後の本町の考えは。

環境課長
産業本課長

府の協力で 施設誘致の早期実現

A 株式会社PLANETについては進出計画が中止となった。

第2期の地域創生計画策定に合わせて実施された町民アンケート結果からも明らかのように、本町の定住施策を進めるためには、日常生活用品

等の買物ができる商業施設を誘致し、都市計画マスタープラン等に位置づけられているとおり山城多賀駅前地域を生活拠点として商業的土地利用を図る事が必要との方針は変わっていない。

進出計画中止の報告が

正式にあった後、すぐに京都府へ商業施設誘致に対する支援・協力を要請した。これまで数件の問い合わせが有り、現在府が窓口となり進出企業の意向内容等について確認統一を行っていただいて

いる。

今後町としても、府の協力も得ながら山城多賀駅前への商業施設の誘致が少しでも早く実現できるよう取り組んでいきたい。

LGBTについては

Q 近年、セクシャル・マイノリティー（LGBT）という言葉がメディアで目にする機会がふえた。

しかし、性の多様化についてまだまだ理解されておらず、地域社会ではLGBTに対する偏見や差別が多く見受けられるのも事実だ。

誰もが自分らしく生き

ることができると社会を実現していくことが行政にも求められている。

本町としても、いきいきと安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりの観点からも新たに組み込んでいかなければならない課題だ。

LGBTについて

①本町の考えは。

②現在の取り組み内容は。

慎重な取り組みが必要

いづみ人権交流センター
木田所長

A ①LGBTとはレスビアン（女性同性愛者）・ゲイ（男性同性愛者）・バイセクシャル（両性愛者）・トランスジェンダー（性同一性障がい）の頭文字をとった

単語で、性的少数者の総称の1つと理解している。

②昨今、認知され理解は進んできているものの課題も多く非常に繊細で、慎重を欠く事で個人の尊厳を著しく傷つける可能性もはらんでいる。

段階を踏んで慎重に取り組む必要がある。

人権講座きらめきで、

本町で初めてLGBTについて講演会を実施した。

印鑑登録証明書に、性別表記の選択ができるよう規則改正等を進めている。

先進地の調査研究をするなど、全ての人が自分らしく暮らせる社会を実現するよう一層努める。



「人権講座きらめき」でのLGBT講演会



谷田 みさお 議員

基本政策と取り組みは

① 10月から実施される

幼児教育・保育の無償化について問う。

② 対象施設は。

③ 保護者へ制度変更についての通知・周知は。

福祉課長
中坊 住民
教育課長
高江 学校

広報掲載やチラシ利用

① 0歳児から2歳までの

非課税世帯と3歳児から5歳児。

事業や認可外保育施設。

③ ホームページ・「広報いで」に掲載。

② 町立保育園や幼稚園・認定こども園・地域型保育、企業主導型保育

* 町立保育園では保育料の通知にチラシを同封。
* 町外幼稚園通園児保護者には個々に案内。

交付税を受ける考えは

① バス運行に踏み出し

てもさまざまな公共交通

の補助金の対象にならない場合でも、少なくとも赤字額の8割の特別交付

税の交付が受けられるのでは。

財政課長
企画課長
花本

受けても相当の赤字を見込む

① 特別交付税措置には

年間のバス走行距離に応じた上限額が定められている。本町のように市街地面積が小規模の場合、運行距離は短くなることから、赤字額の8割が措置されずに2〜3割程度

になるものと考えている。残りの相当の割合を町が負担することになることから、特別交付税措置をもってしても相当の赤字額が見込まれるバス運行は大変難しい。

避難所にエアコンは

① 災害時の避難所指定

されている町内の2小学校の体育館には、エアコンがない。冬季はストーブでしのげるが台風や豪雨被害が集中する夏季の

避難者にも健康上エアコンは不可欠。選挙での投票所としても夏季使用される小学校体育館へのエアコン設置の考えは。

総務課長
協本

スポットクーラーを活用

① 小学校の特別教室に

も空調設備を設置した。これまで特別教室で使用

していたスポットクーラーやご寄付いただいた涼風扇を避難所である体育

特別の啓発看板を

館での活用を考えている。

① 駅にシニアカーを駐

輪して電車に乗車しようとしていない。エレベーター駐輪場を利用できないと苦情を聞く。

玉水駅南西側駐輪場は2階が空いているが1階入り口近く通路上に自転車やバイクが置かれていて、帰宅時に通路が塞がれ出られない。

山城多賀駅では駅西側は駐輪場として整備されていない。エレベーター前にも自転車やバイクが置かれている。バリアフリー化された駅で趣旨が生かされていない。シニアカー等の優先区画を設け、特別の啓発看板を設置しマナー向上する工夫の考えは。

建設課長
西田

マナー向上に向け啓発

① 利用者のマ

ナーによる問題でありマナー向上に向けた啓発に努める。

シニアカーの優先区画については、すでに他からも聞いており実態調査して検討する。



マナー向上に向け取り組みを

京都府町村議会

広報編集正副委員長研修会

議会広報編集副委員長

脇 本 尚 憲



8月9日(金)に京都府自治会館ホールで京都府町村議会広報編集正副委員長研修会が開催され広報アナリストの吉村潔氏による『議会への関心を高める広報』をテーマに講演がありました。広報は広く報せるという意味だ

けではなく広聴という意味もあり住民の方に親しみをもって読んでいただける紙面づくりに心掛けなければならぬと説明がありました。本町の『議会だより』についても講師より総評していただき他の自治体の紙面などを紹介

しながら、より具体的な改善点や助言をしていただきました。今回の内容を議会広報委員会で情報共有すること、今後の広報紙面の内容、容つくりにかしていききたいと思います。

京都府町村議会

新任議員研修会

奥田 俊夫 議員



8月21日(水)京都府自治会館に於いて新任議員を対象とした研修会に参加しました。第一部では山本茂樹地域振興担当課長より『地方税財政等について』の講義があり、府内における各市町村の財政につき具体的な資

料を用いて、現状や今後の課題の説明がありました。第二部では福井均町村議会議長会事務局長と廣瀬公課長補佐の両名より『地方議会の制度と運営について』の講義があり、議会運営における基礎用語と議員の義務や権限についてそれぞれ説明がありました。今回の研修を受け、今後本町における様々な課題に対して積極的に取り組んでいく決意をしました。

京都府市町村広報研修会

議会広報編集委員長

中 坊 陽



8月27日(火)ルビノ京都堀川で開催された議会広報研修会に参加しました。第一部の講演では、議会広報サポーターの芳野政明氏より『議会報が読まれ、伝わる』

と『基本と編集』をテーマに講演があり第二部では、参加市町村ごとにクリニックがありました。井手町議会だより(第65号令和元年5月発行)の総評では、表紙写真(多賀保育園の入園式)がキャプションとともに好評でしたが小見出しや文字の大きさ・書体など工夫するようアドバイスがありました。有意義な研修でした。

紙写真(多賀保育園の入園式)がキャプションとともに好評でしたが小見出しや文字の大きさ・書体など工夫するようアドバイスがありました。有意義な研修でした。

委員会報告

総務文教・産業厚生 常任委員会報告

総務文教常任委員長 谷 田 利 一

産業厚生常任委員長 木 村 武 壽

10月25日(金)に各委員参加のもと、議会会議室において、松田教育長・学校教育高江課長・社会教育平間課長の出席を求め常任委員会を開催しました。教育委員会より30年度教育に関する事務の点検及び評価報告書の内容説明を求め、説明を受けました。

点検・評価の結果 自己評価は教育委員会評価で（A・B・C） **【意見】**は学識経験者の意見
評価の基準 A 十分達成 B おおむね達成 C 不十分

学校教育

1. 基礎基本を定着させ学力の充実・向上を図る（自己評価 B）
【意見】 国際交流・海外派遣事業との相乗効果で成果を上げている、今後も積極的に
2. 豊かな人間性や社会をはぐくむ（自己評価 B）
【意見】 道徳については、生活の中で実践できるように
3. いじめの防止等のために積極的な指導を進める（自己評価 B）
【意見】 児童会生徒会の取り組み等、子供同士で事象に対する認識を深める取り組みは大切
4. たくましく健やかな身体をはぐくむ（自己評価 A）
【意見】 給食費の全額補助は画期的である
5. 人権を尊重し個性や能力を伸ばす（自己評価 B）
6. 社会の変化に主体的に対応できる力をはぐくむ（自己評価 B）
7. 学校の教育力の向上を図る（自己評価 B）
8. 安心・安全で充実した教育環境を整備する（自己評価 A）
【意見】 教育環境整備は学習活動に進めて頂いたことはありがたい。今後もお願いしたい

社会教育

9. 家庭の教育力の向上を図る（自己評価 B）
【意見】 絵本の贈呈は継続的に進めて頂いている。幼児の保護者に贈呈事業の案内を
10. 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ（自己評価 B）
【意見】 総合型スポーツクラブは、今後も積極的に取り組みを
11. 生涯学習の振興に向けて学習環境を充実する（自己評価 B）
12. 文化・スポーツ活動の振興を図る（自己評価 B）
13. 人権が尊重される共生社会の実現に向けた学習活動を推進する（自己評価 B）
14. 地域文化・伝統文化の保全、継承、活用を図る（自己評価 B）
【意見】 町指定文化財は町内の貴重な文化財を町内外へ広報する必要がある

以上の内容でした。

井手町学校紹介

「誇り高き泉ヶ丘を築こう」

文責：井手町立泉ヶ丘中学校

校長 中 田 邦 和

本校は、「誇り高き泉ヶ丘中学校を築こう」を合い言葉（スローガン）として、教育活動に取り組んできました。私が泉ヶ丘中学校に勤務しはじめた昭和57年4月には、すでに、この言葉はあったので、少なくとも38年間は、受け継がれている合い言葉です。そこで、今回、生徒たちに「泉ヶ丘で誇れること」として、次の内容でアンケート調査を実施しました。

生徒のみなさんへ、泉ヶ丘中学校のスローガンは「誇り高き泉ヶ丘を築こう」です。みなさんが中学校の中で、「誇り」や自慢に感じているものを3つ書いてください。

結果を見てみますと、「仲がよい（学年を超えて）・みんながやさしい・笑顔がいっぱい・元気」など生徒同士の関係が一番多く、中でも「仲がよい（学年を超えて）」が、どの学年でも一番でした。泉ヶ丘中学校だけでなく保育園、小学校と町全体で、「人権を教育活動の基盤として、人を大切にすること」に、長年取り組んできたことが、生徒たちに伝わっていることがうかがえます。

また、「みんなで、行事が盛り上がる・団結力がある・あいさつができる」や「先生が熱心・先生がいい・話を聞いてくれる・授業がわかりやすい」などもあり、生徒たちを大切にしたり日々の教育活動がしっかりと伝わっているようで、教員としてたいへんうれしく感じています。

施設面では、「全教室にクーラーがある」「授業でICT機器（電子黒板・iPad）が使える」「体育館が広い、きれい」「オーストラリアとの国際交流ができる」があり、井手町の教育充実のための施策について、他の学校と比べて自慢しています。

さらに、全額補助をいただいている給食については、「給食がない学校もあるけど、おいしい給食がある」と自慢している生徒も少なくありません。

今回のアンケート結果から、泉ヶ丘中学校で取り組んでいることや井手町の施策が確実に生徒たちに伝わっていることがわかりました。

これからも、井手町の将来を担う生徒たちの健やかな成長のため、教職員一同、精一杯努力してまいります。引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



体育大会の様子



オーストラリア生との国際交流



— 井手町のむかし話 —

井手町にはいくつもの昔話があります。
今回は、江戸末期1862年に將軍家茂に降嫁した和宮さんにまつわる話について紹介いたします。

“和宮さんのおかげ”

嫁入り道具を担いで六十両で家構え

むかし、有王の里に忠右衛門という若者があってな
お茶やお米を作って暮らしていたんや。

その頃は、開国の動乱の真ただ中で、朝廷と幕府
が、激しく衝突してたんや。そこで幕府は、政治の安定をはかるため、孝明天皇の妹和宮を、將軍家茂の夫人に迎えることにしたんや。

文久元年の秋、京都御所から和宮さんを乗せた花嫁行列が江戸へ下った。たくさんのお供のほか、嫁入り道具を担ぐ人足が300人もいたんや。その中に有王の忠右衛門がおったのや。

荷物を持つ人足は、禁裏御料から集められて、和束から3人、有王から1人割り当てられ、その中の1人が忠右衛門やった。

選ばれるのは名誉なことやけど、なんせ、和宮さんの江戸下向に反対する者があってな。江戸へ行くのは、命がけのことや。

おっかあは「お前は次男やから、もしもの事があってもかまへん。跡取りには長男がいるんやから。」と言いつつ、目を真っ赤にはらしておった。

忠右衛門は、京の御所から嫁入り道具を担ぐ行列に加わったんや。

ところが、お輿が気になってしかたがない。一目でもいいから和宮さんを見たいと思うたんや。「姫君はどんなお方やろ」

お輿を降りられる時、胸をときめかせながら、前の方へ行かせてもらうたんや。

たくさんの侍女に守られ、おまけに扇をひろげておられたけど、隙間から和宮さんの顔をチラッと見ることができたんや。

大きな声では言えへんが、和宮さんは噂のような美人やなかった。

花嫁行列は、50日かかって江戸へ着いた。それから十日後、無事に京へ戻った忠右衛門は、往復60日の手当としてなんと60両ももらたんや。大金やで。

忠右衛門はそのお金で、和束村の古い家を買ってな。それを解体して、有王の里まで肩に担いで運んだんや。半里以上もある山道を何日も行ったり来たりしてな。

次男やった忠右衛門は、分家して新しく一家を構えることができたんや。これも和宮さんのお陰やな。

文：宇治民話の会

井手町ふるさとガイドボランティアの会 岩田 剛



深光富士男著「武士の旅」
「瓦版中山道御下向御休泊御本陣附」より
岐阜県博物館蔵

『井手町歴史散歩』は今回で終了します。原稿の投稿ありがとうございました。

議会広報編集委員				
委員長	副委員長	委員	委員	委員
中坊	脇本	谷田	岡田	木村
陽	憲	利	久	武
壽	雄	一	雄	壽

編集後記

秋が去って、冬の訪れを感じる季節となりました。

令和の時代になっても自然災害の多い年となりました。9月に関東を直撃した台風15号は、首都圏の交通網を混乱、建物の倒壊、93万世帯が停電、断水になるなど市民生活に甚大な被害をもたらしました。

また、10月に東日本を縦断した台風19号の豪雨は、広範囲に被害をもたらせ、多くの河川を決壊し尊い命を奪い、家屋を浸水させました。想像以上の被害に、あらためて台風の恐ろしさを知られました。

被害に合われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

自然災害の発生は止めることはできませんが、自助・共助・公助の連携で「自分たちのまちは自分たちで守る」という強い決意で、これから更に「災害に強いまちづくり」に取り組まなければならないと思います。

(H・O)